

人間の第二の皮膚といわれる衣服と身体の間には空間が存在している。

しかし、その空間は認識されていない。

制作のプロセスで
空間を認識するためには、ある程度の不自由さを感じることで
空間が生まれる要因となっているのではないか
という仮説がたつた。

また、近年では公園から遊具の撤去やレジャーシートの使用の禁止など
容易に空間をつくることや遊ぶという行為が少なくなっている。

本制作では普遍的に着ているドレスのスケールを
圧倒的に肥大化させ
着る人は不自由さを感じ、空間を拡張し
参加者にはドレスの隙間の空間を認識させる。

ドレスの上に空間をつくる。

ドレスの下に空間をつくる。

空間を拡張させる。

私はこの作品が、衣服であり、空間を生み出す装置としてのきっかけと
なることを願う。